

-Index-

- 地域支援の申し込みについて
- 令和4年度 各種研修会のお知らせ
- 令和3年度 地域支援報告
- 映画紹介「コーダあいのうた」
- 国立国際美術館「ちっちゃなこどもびじゅつあー」



聴覚障がい教育情報誌

創刊28年目「みみネット」

大阪府立中央聴覚支援学校〈聴覚支援センター〉では、地域の学校園の先生方に向けて、聴覚障がい教育に関する情報紙「みみネット」を月1回発行しています。大阪市立学校園にメール配信するとともに、大阪府立学校園にも案内を送信しています。ぜひ、ご活用ください！

「みみネット」は、本校ホームページから閲覧可能です。
<https://www2.osaka-c.ed.jp/osakachuo-c-s/>



大阪府立中央聴覚支援学校
~Chuo School for the Deaf~



地域支援の申し込みについて

本校では、「きこえ」や「ことば」に関する相談・支援を行っています。聴覚障がい教育の豊かな経験と専門的な知識を持った教員が、それぞれの課題に即した相談・支援に応じます。

教員研修

本校教員が学校園に訪問し、教員研修や理解授業支援を行います
(例)「きこえと補聴器」「きこえにくい子どもへの指導の実際」「擬似難聴体験」など

理解授業支援

共同して授業計画を立案し、効果的な指導に結びつくよう相談・支援を行います
(例)「聴覚障がいのある先生との交流」「きこえにくさの体験」など

支援や指導に関する相談

指導の方法、教材作成上の工夫、教室の音環境、情報保障等に関する相談・助言に応じます

補聴相談

聴力の測定やことばのききとり評価を行うとともに、補聴器や人工内耳の効果的な活用などについての相談に応じます

各種研修会 (年間3回)

年3回の研修会を、本校にて実施しています

<申し込み方法>

ご相談は随時受け付けています。本校に支援や相談を依頼される場合には、本校「特別支援教育コーディネーター」まで電話またはFAXにて、ご連絡ください。

大阪市立の学校園からの依頼は、大阪市教育委員会指導部インクルーシブ教育推進担当のホームページに掲載されている「府立支援学校への地域支援相談申し込みについて」をご参照ください。申し込み関連文書は、本校ホームページの「地域支援」からもダウンロードできます。

特別支援コーディネーター
TEL. 06-6761-1419
FAX. 06-6762-1800

(参考) 大阪市教育委員会指導部 <http://www.ocec.jp/shidoubu/index.cfm/9.html>

令和4年度 各種研修会のお知らせ(予定)

令和4年度の本校主催の研修会についてお知らせします。今年度も地域の先生方のニーズにお応えできるよう、充実した研修内容を企画しています。

<研修会の日程>

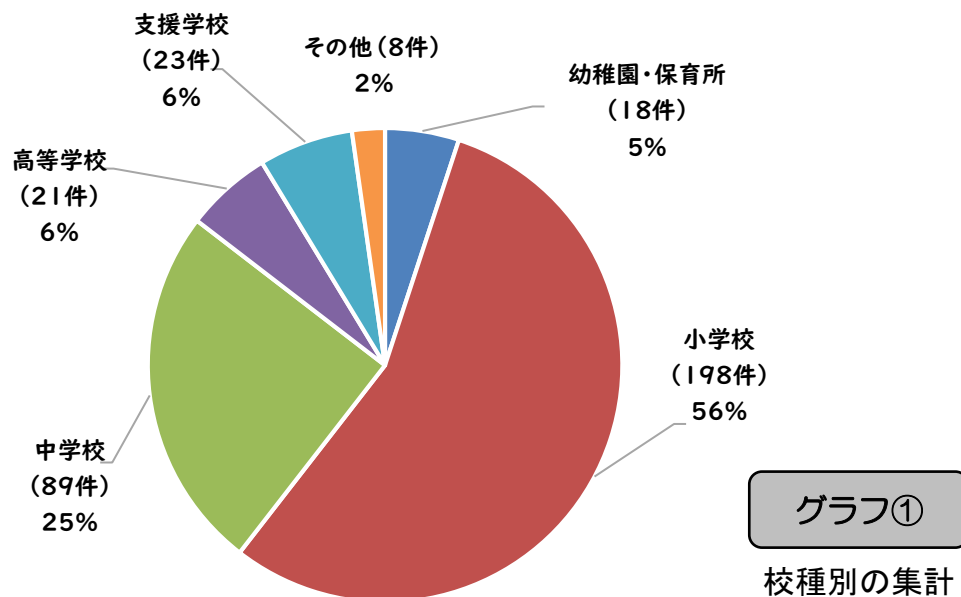
8月 初旬 「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会」
 「養護教諭セミナー」
 12月もしくは1月 「みみネットアカデミー」

8月の研修会については、日程が決まり次第「みみネット」および本校ホームページ等に、掲載します。なお、新型コロナウイルス感染状況によっては、中止または延期の可能性があります。

令和3年度 地域支援報告

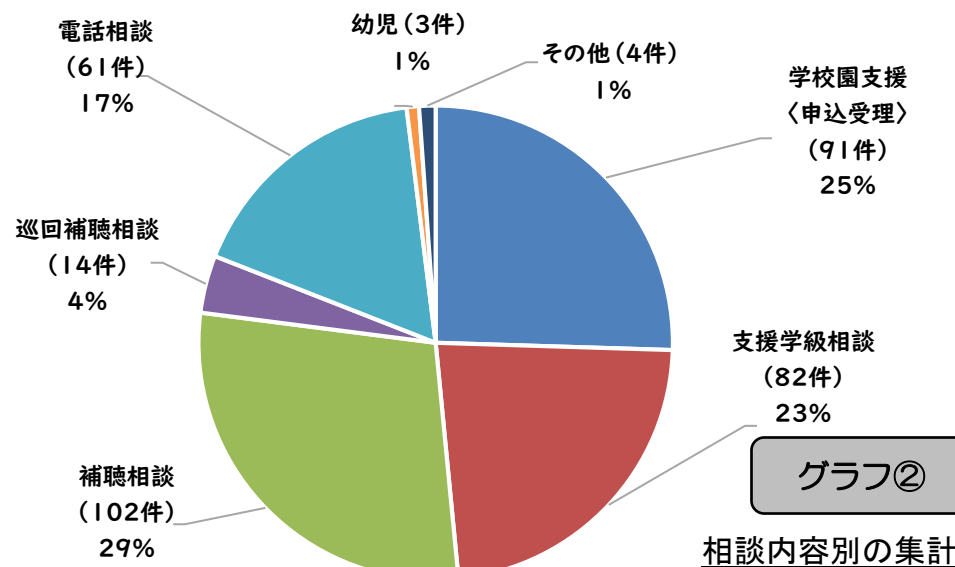
令和3年度に本校が実施した支援総数は **357** 件でした。

本年度本校の聴覚支援センターが実施した支援相談の件数を、校種別(グラフ①)および相談内容別(グラフ②)に掲載しています。



校種別(グラフ①)の件数については、小学校を対象とした支援相談件数が半数以上を占めています。全体的な比率については、令和2年度と大きな変化はありませんが、高等学校を対象とした支援件数は、年々増加しています。

高等学校への支援 : R1 (17件) → R2 (19件) → R3 (21件)



相談内容別(グラフ②)の件数については、「電話相談」が令和2年度よりも減少(80件→61件)し、「支援学級相談」が増加(60件→82件)しています。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が進み、徐々に来校支援や訪問支援の件数が増えてきたことが要因のひとつであると考えています。

支援学級相談

聴覚支援センターでは、小・中学校の支援学級に在籍する児童・生徒の支援として、「支援学級相談」(教育相談)を実施しています。支援学級相談の申し込みがあった大阪市・守口市の小・中学校に対して、希望があれば訪問支援を行っています。令和3年度は、「支援学級相談」の対象児童・生徒 **46** 名(小学生 **31** 名、中学生 **15** 名)に対し、のべ **83** 回の訪問支援を行いました。

(訪問支援は、グラフ②の「学校園支援」の中に含まれます)

巡回補聴相談

巡回補聴相談では、支援学校に在籍する子どもたちの支援のために、希望があれば学校訪問を行っています。大阪市と守口市の対象の支援学校 **15** 校のうち、令和3年度は **6** 校 (**15** 名) に実施しました。今年度も、上記の対象校に巡回補聴相談の案内を配付しています。

映画紹介

アカデミー賞 作品賞を含む主要3部門受賞

「コーダあいのうた」

3月28日に開催された第94回アカデミー賞で、『コーダあいのうた』が作品賞、助演男優賞、脚色賞に輝きました。



What's コーダ??

コーダとは、聴覚障がいの親をもつ「きこえる子ども」のこと (Children of Deaf Adults : CODA) です。

聴覚障がいのある家族のサポートや、家事やおうちの用事など、小さい頃からなんらかの家庭内の役割を担っている方が多くいるといわれています。

また、コーダは幼児期 (平均 6.48 歳) から親の通訳役割を担い、通訳は生活の多岐にわたり、併せて親の代理交渉を伴うなど、成長期に心理的負担となっていることが報告されています (中津, 2020)。

この映画の『コーダ あいのうた』は、2014年のフランス映画『エール!』のリメイク作品です。家族の中でたったひとりの聴者である少女、ルビーの物語です。さまざまな葛藤や、きこえないことのハンデそのものが題材となっていますが、それほど悲劇的な雰囲気はなく、明るくてユーモラスに描かれています。ぜひ、ご覧ください!

(参考) 映画『コーダ あいのうた』公式サイト <https://gaga.ne.jp/coda/>



ちっちゃなこどもびじゅつあー ~絵本もいっしょに~

国立国際美術館では、「0歳からの美術館体験プログラム」で、手話での絵本よみ、作品のスライドトークを展開しています。きこえない・きこえにくい子ども、きこえる子どもも対象にしたプログラムとなります。

手話に対応したプログラムの実施日時は、下記のとおりです。



日時: 2022年5月18日(水) 15:30~16:45

(※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止になる場合があります。)

絵本よみ、作品のスライドトークを楽しんでから、コレクション展をまわります。ほんものの作品に出会う前に、美術館スタッフや参加者みんなでたくさんお話しするので、作品の前では、作品を見て感じる、思うことがどんどんあふれてくる内容となっています。

対象: 0歳~未就学の乳幼児とその保護者(2名1組)

定員: 5組10名(応募者多数の場合は抽選)

※要事前申し込み(5月6日(金)必着、定員に達しない場合には引き続き募集します)

参加費: 無料(保護者は要コレクション展観覧料)

協力: 大阪府「こめっこ」プロジェクト

申込方法: 国立国際美術館ホームページにて申込方法をご確認のうえ、下記宛先までお申し込みください。

<宛先> 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55

国立国際美術館「ちっちゃなこどもびじゅつあー」係

お問い合わせ

国立国際美術館 <https://www.nmao.go.jp/>

電話: 06-6447-4680(代) 平日10時~17時



「みみネット」編集部:

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当: 中咲、金森

〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31

TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800